

## 第36回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第1問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。

問1

10

20

25

地域別分析とは、天候等の自然条件によって大きな影響を受ける雪寒地域や大都市圏など地域の事情を考慮する分析である。建設工事においては屋外での工事が大半である。よってこれは、同一地域の問題であると同時に、  
 5 地域差としてとらえるべきであり、経営比較ないし企業間比較を合理的に行うには、雪寒地域や大都市圏を区別する特別な配慮が必要となる。規模別分析とは、財務構造や損益構造など企業の規模の大小による格差を考慮した分析である。財務分析においては地域別分析と並び経  
 10 営比較ないし企業間比較を行う場合、重要な柱となる。

問2

10

20

25

建設業における工事は規模の大小にもよるが、施工である工事依頼主から元請が受注し、その後、各下請業者へ発注するという下請制度が大半である。その下請業者の業種は多様であり、それぞれの業種によって利益率や回転率、外注依存率に相当な開きがある。建設業の財務分析において、経営比較ないし企業間比較を行う場合に業種別分析に基づいた経営指標と比較してこそ、個々の企業の特色および優劣の判定が可能となり、業種別分析を無視して分析することはできない。よって、建設業の財務分析において、業種別分析は重要となっている。

〔第2問〕

記号(ア～ヘ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ハ	キ	カ	ウ	ノ	ク	ア	コ	フ	オ	ヘ

〔第3問〕

(A) 

4	4	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円 (百万円未満を切り捨て)(B) 

2	6	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円 (同上)(C) 

8	9	6	0	0
---	---	---	---	---

 百万円 (同上)(D) 

6	0	0	2	
---	---	---	---	--

 百万円 (同上)棚卸資産回転率 

4	2	5
---	---	---

 回 (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

[第4問]

問1 

			1	0	2	2
--	--	--	---	---	---	---

 円 (円未満を切り捨て)

問2 

		1	5	8	8	0	0
--	--	---	---	---	---	---	---

 円 ( 同 上 )

問3 

1	8	9	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---

 円 ( 同 上 )

問4 

1	0	6	6	7
---	---	---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

問5 

2	2	8	1	2	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---

 円 (円未満を切り捨て)

[第5問]

問1

A 自己資本事業利益率 

1	0	6	0
---	---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

B 有利子負債月商倍率 

		4	7	9
--	--	---	---	---

 月 ( 同 上 )

C 完成工事高キャッシュ・フロー率 

		2	2	9
--	--	---	---	---

 % ( 同 上 )

D 付加価値率 

1	7	3	4
---	---	---	---

 % ( 同 上 )

E 設備投資効率 

4	1	2	0
---	---	---	---

 % ( 同 上 )

F 資本集約度 

6	2	6	3	4
---	---	---	---	---

 千円 (千円未満を切捨て)

G 受取勘定回転率 

		1	9	4
--	--	---	---	---

 回 (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

H 完成工事高増減率 

1	8	2	1
---	---	---	---

 % ( 同 上 ) 記号 (AまたはB) 

A
---

I 金利負担能力 

2	3	2	9
---	---	---	---

 倍 ( 同 上 )

J 配当性向 

2	8	6	1
---	---	---	---

 % ( 同 上 )

問2

記号 (ア～ホ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
キ	サ	エ	オ	ア	シ	ウ	フ	ト	カ